福岡運輸 創立55周年記念フォーラム いま、安全を生きる

第2部 記念講演 五木 寛之氏「きょう一日を生きる」

講演する五木寛之氏

「酒は笑顔、悲しみとともに飲む。しかし、飲酒運転はやめよう」

五木寛之氏は「福岡県が飲酒運転で最悪であることは、大いに考えなくてはならない」と前置き。「人はなぜ酒を飲むのか」と問い掛けた。

そして「その根底には人間存在の憂いがあり、鬱になることも人間的なことなのだ」と指摘。仏教や古代インド、中国の言葉に触れながら、鬱の時代の深層に迫った。

最後に親鸞の言葉を引用しながら「いい酒を飲むことが大切だ。笑顔とともに飲み、悲しみとともに飲む。しかし、飲酒運転はやめる」と締めくくった。

第3部 記念講談 神田 紅氏「富永シヅ物語」

日本で初めて冷凍トラックを走らせた女性

福岡運輸の創業者 富永シヅ一代記

熱演する神田紅さん

時は明治42年1月28日、長崎は五島列島の南端、福江島の荒川で、一人の女の子が元気な産声を上げました。シヅと名付けられた女の子は、両親や祖父母の愛情に育まれ、スクスクと育ちます。昭和2年春、師範学校を成績優秀で卒業し、付属小学校の先生になりました。

24歳の時、転機が訪れます。縁談です。相手は、徳島の富永恒太郎。今は五島の玉之浦で底引き船団を束ねる漁師です。38歳の恒太郎に次第にシヅの目は向いていき、6年間の教師時代にピリオドを打ち結婚。翌年、恒太郎は漁業の拠点を玉之浦から福岡港に移しました。地元の反対があったのですが、恒太郎は「流通は利便性が大事。これからは福岡の港がいいはずだ」と確信し、大英断をいたします。

かくして福岡港に一大漁業基地を造るために奔走する恒太郎を、シヅは必死で支えました。

そんな最中の昭和11年11月、長男義昭が誕生。2年後には次男の恒二が誕生。大喜びする夫でしたが、そのころからますます多忙を極め、シヅも幼児2人を抱えて、てんてこ舞い。

しかし、体調を崩した恒太郎はその後入退院を繰り返し、とうとう昭和17年3月17日、48歳で帰らぬ人となってしまったのでございます。このときシヅ33歳。幼子を抱え、おかみとして船団も率いていかねばなりません。

◇ ◇

戦後は、すぐに食糧危機。国はいち早く漁業の復興を支援。シヅは亡き夫に成り代わり「天洋水産」の社名で漁業を再開しましたが、シヅは考えました。

「漁業もいいけど、これからは自然に左右されることのない、安定した陸上の仕事がしたいわ。運び込まれるたくさんの物資をさばくのに、まず大きな倉庫が必要じゃないかしら」と、倉庫業に乗り出すことにいたしました。

終戦間もない昭和23年10月、長浜の一角に木造の倉庫を建設。その後東区に移転して岸壁の近くに本社屋を建設。「福岡倉庫」は順調な船出をしたのでございました。それから8年後の昭和31年、今度は運送業に乗り出します。それが「福岡運輸株式会社」。ところが赤字続きで早くも廃業の危機に追い込まれてしまいます。

そんな昭和32年7月のある暑い日。

シヅは、日本に進駐していた米軍の輸送事務所から「民間委託事業の説明会」があると聞いて、出掛けて行きました。

「皆さんの中で、横浜から博多まで、アメリカからの食料を冷凍・冷蔵車で輸送してくれるところはありませんか? 国鉄の冷蔵貨車や冷凍車では、時間がかかり過ぎるのです」と米軍の将校。集まった輸送会社の誰もが尻込みする中、将校は、大きな白いピカピカの電気冷蔵庫の前にみんなを連れて行き、「この冷蔵庫をトラックに積んで走ると思えばいいのです。簡単でしょ?」と笑っています。

シヅは、自分の背丈よりずっと高いアメリカの電気冷蔵庫を初めて見て驚きました。

「こげもんで、冷えたまま生鮮食料品を運ぶことができたら、これからの日本の食生活も変わる。こりゃ世の中のために誰かがやらなきゃ。じゃ、私がやろう!」

気が付くとシヅは、手を大きく挙げていました。この車製作所の矢野倖一社長の協力を取り付けてくる。そして、シヅが手を挙げてから1年2カ月後の昭和33年9月。福岡運輸の冷凍車第1号が完成したのです。

かくして、冷凍車第1号は、春日市のミルクプラントから、新鮮なミルクとアイスクリームを積んで、山口県の岩国基地と広島県の呉基地に届け、これが大成功! その後も冷凍車の台数を増やし、名実共に日本で初めての冷凍輸送会社となります。その後、横浜支店を開設。それまで国鉄の冷凍車が4日かかっていた福岡―横浜の冷凍輸送を、福岡運輸は2日でやり遂げます。

誰もやらなかったことを次々に実行していく社長富永シヅ。即断即決は天性の勘というものだったのでしょうが、幾つもの困難にも遭遇いたします。「エンジン音がやかましい」と苦情が出ると、シヅは福岡空港前に本拠地を移転。営業所を次々につくって、全国ネットワークを完成いたしました。

◇ ◇

周梨槃特はお釈迦様の弟子の一人。お寺の清掃に専念し、阿羅漢の位になった方です。一生懸命掃除をすることで、どの弟子より早く悟りを開いた周梨槃特の、愚直ながらもひたすら努力する姿に感銘を受けたシヅ。

「私は間違ってこんな役割を引き当てたので、神様がお力をくださるものと思うようになりました」と語るシヅの座右の銘は「ただ露ばかりも違わじとする人の尊さよ」

それからの富永シヅは、ただひたすらに社会のお役に立つための仕事に打ち込んだのでございました。

平成18年5月23日。富永シヅは、住みなれた自宅で近親者に見守られながら、97歳の生涯の幕を閉じたのでございます。

福岡運輸展示 国産第1号の冷凍車を復元

コールドチェーン時代を切り開く

復元された国産第1号の冷凍車

福岡運輸が開発した国産第1号の冷凍車復元展が9月29、30日、福岡市・天神のエルガーラ・パサージュ広場で開かれ、通行人の目を引いた。同社の創業者・富永シヅが1958年、在日米軍の物資輸送をきっかけに開発。わが国のコールドチェーン時代を切り開いた。展示されたのは、同社の創立50周年を記念して、第1号を復元したもの。冷房のない運転席のフロントガラスは、空気の入れ替えができるように開閉式。

また、運転席の下には、長距離移動に備え仮眠スペースが設けてあるというユニークなスタイル。三角形の車の前部を、懐かしそうに見入る人もいた。

16歳の犠牲を忘れない!

福永さん、一人芝居で飲酒運転撲滅を訴え

犠牲になった高校生の人生のさまざまな場面を熱演する福永宅司さん

福岡県粕屋町で2月に起こった飲酒運転による2高校生の死亡事故をテーマにした一人芝居「16才 寛大(かんた)を忘れない」が9月29、30日、福岡市・天神のエルガーラ・パサージュ広場で演じられ、観客らは飲酒運転撲滅への思いを新たにした。

演じたのは元小学校教諭で「子どもの学び館」など主宰の福永宅司さん(52)=福岡市在住。福永さんは、事故の犠牲になった山本寛大さん(当時16歳)が、自分の息子と同年代だったこともあって「人ごとではない」と、寛大さんの両親に会い、思い出などを聞いて台本を作ったという。

芝居には寛大さんの人生のさまざまな場面が登場。事故当日の様子を熱演すると、観客の中には涙ぐむ人もいた。福永さんは最後に「1人の100歩より、みんなの1歩が大事。みんなで飲酒運転ゼロを目指しましょう」と訴えた。

福岡の中心、天神から情報発信を!

福岡・天神エルガーラホール
http://www.elgalahall.co.jp/
詳しくはネットで
ELGALA エルガーラホール ●予約受付はご利用の1年前から TEL092-711-5017 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-2

私共も飲酒運転撲滅活動に賛同致します
〈50音順〉

UD TRUCKS
UDトラックスジャパン株式会社
代表取締役社長 田中 慶次郎

(株)矢野特殊自動車
株式会社 矢野特殊自動車
代表取締役社長 矢野 彰一
福岡県粕屋郡新宮町上府1540-3
TEL092(963)2000
FAX092(963)1555

日本の保険は、ジャパンが変える。
損保ジャパン
株式会社 損害保険ジャパン
福岡支店 営業第一課
〒812-8668 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-5-17
TEL.092(481)5310
ホームページアドレス http://www.sompo-japan.co.jp

IDEX
太陽光発電・オール電化は
イデックスへ

webでもチェック!
IDEX 太陽光 検索
新出光太陽光発電システムコールセンター
Free Dial 0120-89-9933
受付時間 8:30~17:30
株式会社 新出光

HINO
九州日野自動車株式会社
取締役社長 守 直人
〒812-8583 福岡市東区箱崎ふ頭2丁目2番26号
TEL(092)641-1171 FAX(092)651-8719

日野デュトロ

ISUZU
いすゞ ギガ・フォワード・エルフ
「運ぶ」を支え毎日の仕事に役立つ「満足」を。
いすゞ自動車九州株式会社
代表取締役社長 松本 雅明
福岡県福岡市東区東浜一丁目10番85号
TEL092(641)7711